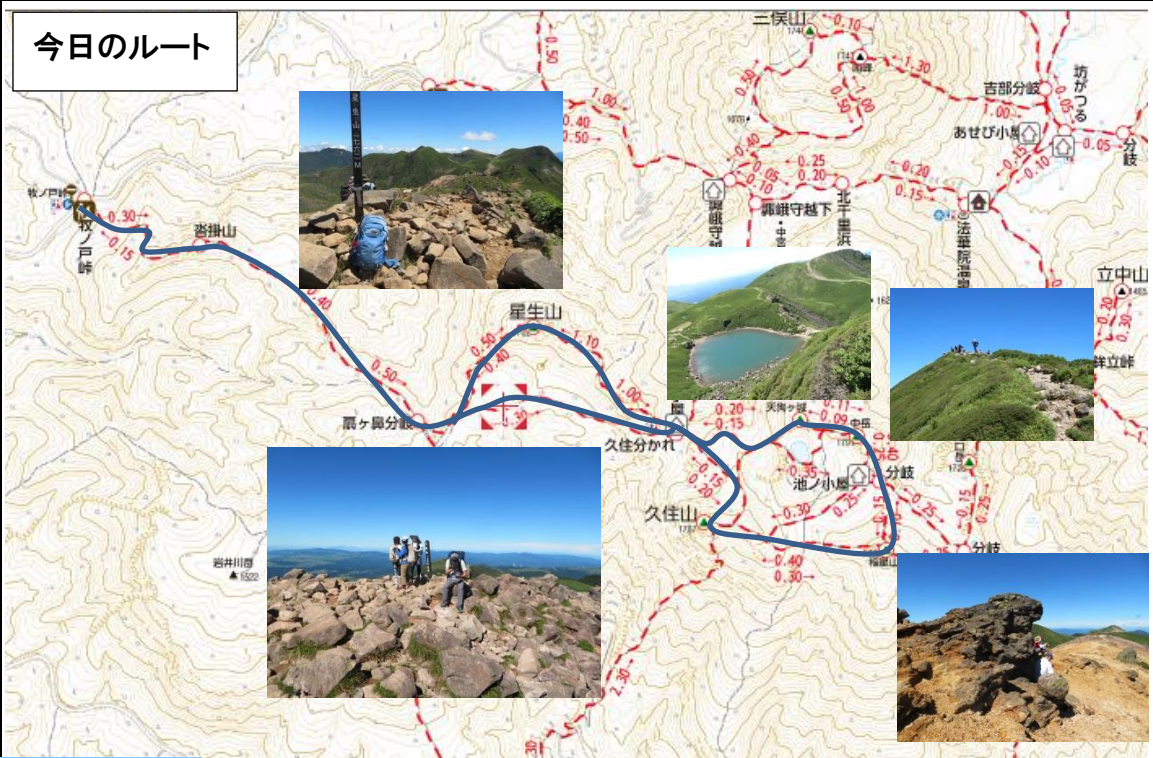


# “山おやじの一日”

年月日	令和2年8月29日 (土曜日)
天気	台風一過の素晴らしい秋晴れ、帰途、玖珠から把木までは夕立
社会の出来事	昨日の安倍総理の退陣表明で驚天動地
主な活動	5月以来の九重。7時前の牧ノ戸駐車場は満車＝帰途には筋湯への道にも！
一日の歩数	38081歩
記事	<p>秋採りのキュウリ、カボチャ、ジャガイモ、小松菜の植え付けも終わったので、台風一過の好天を予測しての九重行を決行しました。コロナ禍でまだまだ遠慮していたのですが、牧ノ戸駐車場には北九州、福岡、筑豊、長崎、山口の車であふれており、途中の長者原や大曲にもたくさんの登山者が居たので、7月の豪雨で崩れた登山道も通れる様になったのでしょう。</p> <p>牧ノ戸の気温20℃。空は雲一つない真っ青な秋空で、カメラマンにとっては面白くない空ですが、登山者にとっては360度の展望にあちこちから黄色い声が聞こえてきます。沓掛まで登ると、南は阿蘇から九州の脊梁(国見、向坂、京丈)から市房まで見えています。その東には祖母傾から大崩まで、西に目を転ずると雲仙から多良岳まで俯瞰できます。</p> <p>北にはすぐそこに猫の耳(由布)と鶴見から犬が岳、英彦山などの北九州の山並みが見えるように見えています。あとはなだらかな尾根歩きを秋の風と秋の花を楽しみながら若者たちと追いつ追われつで登ります。扇が鼻分岐まで登ったらヘリの轟音に遭難者か？と気が滅入りますが、避難小屋が古くなっていたので改装工事中で、生コンをピストン輸送するヘリだったので一安心しました。</p> <p>土間で湿気もあった避難小屋がコンクリートの床になり、この冬の避難小屋が楽しみです。工事の邪魔になったらいけないので、そのまま九重山頂めざして9時半登頂です。風も涼しいし、体調も良いので久しぶりに1700級5座巡回を思い立ちました。時間はあるし、雲さえ湧いてこなければ十分に回れると、まずは稲星の通称「ガメラ」に逢いに行きます。</p> <p>ここで早い昼飯を摂り、中岳ですが、今日の山頂はどこにも人がたくさんいて、尾根道にも登山者の行列がひっきりなしです。中岳の山頂では記念写真の若者たちで、山頂標識にもタッチできませんが、定点撮影後天狗へ移動し、久住別れまで降りたら再度の登りで星生を目指します。</p> <p>星生崎から山頂までの岩稜歩きがまた楽しみです。岩を潜り、乗り越えて、バランスを取りながら楽しんで、星生山頂には12時でした。ここの気温は27度まで上がっていましたが、風があるので体感25℃くらいか。ここまでは涼しい秋の登山でしたが、これから牧ノ戸までの下りは地獄！！暑さと疲れと水不足でなんとか駐車場には14時半でした。(木陰で休憩する登山者を避けながら)</p> <p>時間があるので、長者原の蓼原湿原を散策して、ヒゴダイ、サワギキョウ、ハギなどの秋の花を愛でてきました。ここにもたくさんの観光客が散策していました</p>



今日のルート



長者原から猫の耳



阿蘇の奥には九州の脊梁が



雲仙も多良岳も



定点、西千里ヶ原



改装中の避難小屋



定点、阿蘇の奥には市房も



北千里ヶ原から三俣山



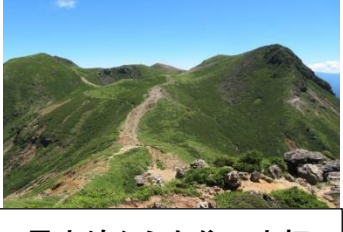
星生の奥には湧蓋と英彦山も



濃緑色の吊り尾根



中岳定点



星生崎から九住の中枢



星生の小窓



この岩を登ります



# “今日待っていた花達”



坊がつる・大船



フウロ(ツクシ?)



秋のキリンソウ



ススキ



ママコナ



紅イタドリ



白イタドリ



ワレモコウ



ワレモコウの一種?



熟れたガマズミ



ハリウツギ



サイヨウシャジン



ヒゴダイ

トンボ  
だらね



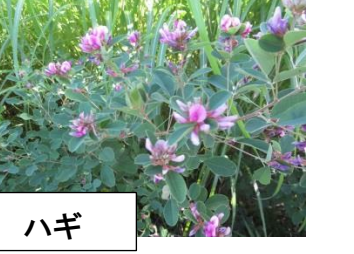
ショウマ?



沢キキョウ



????



ハギ





